



「みんなの家」

—学習支援ハウス—

Learning Support House

2020年12月24日版

アドバイザー：新村昌治（しんむらしょうじ）

専門分野：物理学・数学・数値計算・コンピュータプログラミング

学歴：京都大学理学部卒業・北海道大学大学院修了（理学博士）

職歴：岐阜大学工学部助手・准教授・教授（2020年定年退職）

住所：938-0041 富山県黒部市堀切 1468-1（2021年4月以降）

アドバイザー：新村津代子（しんむらつよこ）

資格：保健師・精神保健福祉士

学歴：京都府立医科大学医学部保健学科（旧府立保健婦専門学校）卒業

職歴：京都市、北海道千歳市、岐阜県本巣市保健師（2016年定年退職）

住所：938-0041 富山県黒部市堀切 1468-1（2021年4月以降）

目的

1. 不登校の子どもが、自由にリラックスできる環境で、学ぶこと。
2. 子ども自身の自発的な意思にもとづいて主体的に学ぶ力を身につけること。
3. 子どもの興味にもとづいて学ぶ機会を提供し、個性を育てること。

「みんなの家」がめざす子どもの力

I. 自ら計画を立て、実行し、振り返る力

学校で学ぶことはたいせつなことです。それは学びの1つの方法であって、ほかにも様々な方法があります。大切なことは、主体的に学ぶ力を身につけることです。将来、社会に出てからも大きな力になります。

II. 自分の興味や意欲にもとづいて学習を進め、個性を伸ばす力

好きな分野、希望する分野の学びを大いに進めることによって、個性を伸ばし、個人としての自分に自信をもって生きる力を育てます。

III. 義務教育レベルの基礎学力

年齢に応じた基礎的な学力を身につけ、本人が登校を希望すれば、学校での勉学を進めることができる学力をめざします。学校への登校を勧めたり、それを目標にするものではありません。

学習への支援内容

子ども本人が、家族の支援を受けながら、学習計画（カリキュラム）を作成し、自ら学ぶことを基本とし、「みんなの家」はそれを支援します。そのために、

- (1) おおむね月1回、本人、家族、アドバイザーと相談の場をもち、学習計画をたてます。
- (2) アドバイザーは、子どもが学習計画にそって自発的、主体的に学習することを支援します。
- (3) おおむね週1回程度、学習計画の進捗状況を本人とアドバイザーで確認し、進捗を促します。
- (4) 学習場所は、自宅と「みんなの家」など自由に選べます。

- (5) アドバイザーにいつでも質問したり、助言を求めたりすることができます（対面、オンラインとも可）
- (6) アドバイザーは、子どもたちの学習環境を維持すること、子どもたちの行動を見守ることを基本し、子どもの自発的な行動を尊重します（休憩、遊びを含め、いつ、何を行うかは自由です）
- (7) アドバイザーは、子ども本人が希望しないかぎり、課題や宿題は出しません。ただし、希望があれば対応します。

「みんなの家」の利用と設備

- ・小学3年から中学3年までの児童、生徒、および、在宅で高校卒業認定試験合格をめざす子どもを対象とします。
- ・受け入れ可能人数はおおむね10人です。
- ・入会は、随時、受け入れ可能人数の範囲で受け付けます（入会金はありません）。
- ・退会は、随時、自由です（無料）。
- ・「みんなの家」の利用は半日（9:00-13:00または13:00-17:00）1000円、1日1500円。最大で1か月15000円です。
- ・お試し期間（無料）もあります。詳しくはお問い合わせください。
- ・「みんなの家」の利用時間は、原則として、祝休日をのぞく月火木金曜日の9:00-17:00です。
- ・入会した子どもと保護者の利用時間内での出入りは自由です。
- ・学習に必要な物品（教科書、参考書、文房具など）は各自で準備してください。
- ・人数分の机・いす・PCを準備します。
- ・「みんなの家」での過ごし方は自由です（学習、休憩、遊び、テレビの視聴など）。
- ・くつろげる場として、リビング・コーナーがあります。
- ・インターネットの利用は自由です（WiFi,LSN環境があります）。
- ・飲食は自由です。飲食物、食器類（壊れやすいものは不可）は各自で準備してください。
- ・調理器具や火は使用できません。冷蔵庫は使用できます。
- ・電気ポット、電子レンジの使用は申し出てください。子どもの操作は認めません。
- ・娯楽用品は、他の利用者の迷惑とならない範囲で、持ち込み、使用は自由です
- ・参考書、辞書、その他、共同で使用できるものは適宜準備し、利用は自由です。

企画、その他の支援

- (1) セミナーの実施（週に2回程度）：自然科学のテーマを中心に、最近のトピックスなどについて、アドバイザーがわかりやすく解説しながら、みんなで意見交流をします。子どもの科学への興味を喚起するとともに、主体的に議論に参加する力を育てます。
- (2) 交流会の実施（月に1回程度）：子ども本人、保護者の全員を対象とする交流会です。学習支援の方法や「みんなの家」の運営についての希望、意見、アイデアをお聞きします。
- (3) 外部講師によるセミナー（不定期）：様々な分野の専門家や元教師の方、さらに、多様な職種の方々の話を聴くセミナーを実施します。広い視野で将来を考える機会になると考えています。
- (4) 健康教育、生活改善への支援（不定期、随時）：不登校などで自宅にこもりがちになると、生活リズムや食生活の管理がむずかしくなります。子どもの成長と健康について、随時、相談にのり、アドバイスをを行います。

新型コロナウイルス感染予防対策

- ・すべて机はパーティションで仕切り、利用人数に応じてなるべく離れた机を利用します。
- ・利用者全員が体温測定（入室時）、アルコール消毒（入退室時）を行い、発熱のある人の利用は認めません。
- ・特別お事情がない限り、飲食時をのぞいてマスク着用を必須とします。
- ・常時、換気扇を作動させます（エアコンによって環境を維持します）。
- ・12:30から13:00、および、16:30から17:00に、利用者と協力して、利用者が接触可能な箇所や備品の掃除（アルコール消毒を含む）を行います。